

# 鹿児島流

# 熱いハートの医師育てます！



鹿児島県は、離島へき地といった地域や特定の診療科において医師が不足した状態となっています。医師不足を解消するため、県では、県外在住医師の県内医療機関へのあつせんや、将来離島へき地で勤務する医学生への奨学金貸与、医師不足が特に深刻な産科・小児科・麻酔科の研修医への奨励金支給などさまざまな対策を行っています。

一人前の医師になるためには、医師国家試験合格および大学の医学部卒業の後、臨床研修病院で臨床研修医として2年以上勤務する必要があります。

平成16年に臨床研修制度が新しくなり、出身大学の病院ではなく県外の病院でも臨床研修を行えるようになりました。すると都市圏での研修を求め、研修先に県外の病院を選択する研修医が増えたことで、県内の臨床研修医の数が減少しました。

そこで、県では、平成21年に鹿児島県医師会や県内の臨床研修病院と協力して「鹿児島県初期臨床研修連絡協議会」（以下、協議会）を設立し、県内病院へそのまま就職してくれる確率が高い臨床研修医を確保するためのさまざまな活動を行っています。

ここでは、協議会の活動内容をご紹介します！

## 県外医学生等出前セミナー

県外の医学生に鹿児島の病院のことや研修内容を知ってもらい、興味を持ってもらう糸口とするために行っています。先輩となる研修医や指導医が、医学生の住む場所へ出かけ、鹿児島県の最新の臨床研修について話をしたり、医学生の疑問や不安を聞き、アドバイスを行ったりしています。

### 参加経験者のコメント

こじま なみ

鹿児島大学病院2年目研修医 児島 奈弥さん  
(国立大学法人大分大学卒業)



私が学生のときに、出前セミナーに来てくださった研修医の先生からいろいろな話を聞くことができて大変参考になりました。

出前セミナーに参加することで、鹿児島での研修に興味を持つ後輩が増えてくれたら嬉しいです。

## 臨床研修病院 見学ツアー

毎年3月に、県内外の医学生を対象に県内の臨床研修病院を巡るバスツアーを行っています。医学生に病院全体の雰囲気を感じてもらうため、実際に病院で働く研修医や指導医たちに仕事や生活などについての話を聞いたり、病院内部の施設を見学したりするツアーです。



## 臨床研修病院 合同説明会

年2回、春と夏に開催する説明会です。県内の基幹型臨床研修病院がブースを出展し、医学生が研修医や指導医、病院関係者などから直接話を聞くことができます。



## 県外での進路説明会への ブース出展

大阪や東京などの県外で行われる、医学生を対象にした進路説明会にブースを出展しています。ブースを訪れる医学生に対し、県内の臨床研修病院などに関する説明を行っています。



## 鹿児島で研修中の臨床研修医の方に聞きました

なんぶう

### 南風病院1年目研修医

いしじま ようすけ  
石島 洋輔さん

(国立大学法人九州大学卒業)



- **鹿児島の病院を研修先に選んだ理由は？**  
教えを請いたい先生が鹿児島の病院にいたからです。
- **これまでの研修生活の中で印象に残っていることを教えてください。**  
同じ病院の研修医たちと「鹿児島研修医勉強会」を立ち上げ、半年間で5回開催しました。今後は、他病院の研修医も参加することができるように工夫をしていきたいです。
- **鹿児島の病院を研修先に選んで良かったことは？**  
都市部の病院に比べると、当直や日常業務もある程度時間の余裕を持って研修ができていく気がします。また、空いている時間に趣味の農作業などもしています。研修だけでなくプライベートも充実させたい、という方には鹿児島はちょうど良いのではないのでしょうか。
- **指導医の先生の印象を教えてください。**  
いつも熱心に教えていただいています。
- **ご自身の将来像は？**  
こころの職人。精神科の医師として、こころに悩み、苦しみ、つらさのある人々の支援ができる医師になりたいと考えています。「職人」というのは、自分の身体だけで行える治療技術を十分に身につけたい、というような意味合いです。
- **将来、医師になりたいと考えている人たちへ一言お願いします。**  
目標となる医師を探して、あこがれを持ち続けると良いと思います。

いまきいれ

### 今給黎総合病院1年目研修医

なかま えみこ  
中間 恵美子さん

(学校法人産業医科大学卒業)



- **鹿児島の印象は？**  
鹿児島県出身ですが、10年ほど県外で暮らしていたので、懐かしい反面自分の知らない土地になっていたらどうしようという不安がありました。  
実際帰ってみると変わったところもたくさんありましたが、人は変わらず温かくて優しいな、と感じました。
- **鹿児島の病院を研修先に選んで良かったことは？**  
大学の講義で聴いていた「医師の偏在」問題を感じ、地元の危機を知ることができました。
- **指導医の先生の印象を教えてください。**  
とても親身になってくださる優しい先生やフレンドリーな先生が多いです。悩んだときに共に考えてくれる先生に、一人の医師としての自覚を常に問われているように感じます。
- **ご自身の将来像は？**  
まずは病理医\*。産業医\*も捨てがたいです。そういえば心療内科にも興味があったんだ・・と、まだまだ模索中です。  
※病理医…病気の原因や過程を診断する専門の医師  
※産業医…職場で労働者の健康管理や環境管理などを行う医師
- **将来、医師になりたいと考えている人たちへ一言お願いします。**  
目指すのはすごく大変ですが、本当にやりがいのある職業だと思います。私は大学受験が一番大変でした。くじけずに頑張ってください。

## 総合臨床研修センターが完成しました！



平成25年10月3日、鹿児島大学病院の新病棟の最上階に「総合臨床研修センター」が開設されました。  
大学病院だけでなく県内一円の研修医や医師、医学生などが利用できる高度なシミュレータを備えた演習室や学習室など、設備が大変充実した施設となっています。

問い合わせ先

鹿児島県初期臨床研修連絡協議会事務局（県庁地域医療整備課内）  
☎ 099 (286) 2653